

#### 4. 先進的取り組みの事例紹介

##### 事例 1：青森県南部町の事例

### ビデオリレーや健康教室によるこころの健康づくり活動

#### 1. 本事業の特徴

平成 11 年度から取り組んできた旧名川町の自殺対策（①うつスクリーニングの実施②相談体制の整備③一般住民への普及啓発活動④高齢者の集団援助活動）をベースに、平成 18 年の合併後は旧南部町、旧福地村も対象地区とし、全町で自殺対策事業に取り組んでいる。平成 19 年度からは、一般住民向けの普及啓発活動の一環として⑤心の健康ビデオ制作・ビデオリレーや⑥小学校の健康教室などを加え、一次予防に特に重点をおいた活動を展開している。

#### 2. 自治体の概要

平成 18 年 1 月に名川町・南部町・福地村が合併し、人口約 2 万 2 千人の『南部町』となった。青森県の南東に位置し、県下第 2 位の人口を有する八戸市の西部に隣接している。町の中央を流れる馬淵川の沿岸部は帯状に平野部が広がり、地味肥沃な土壌となっており、町の南西部には標高 615m の名久井岳を臨み、山と川、そして流域には田園風景が広がる豊かな自然に恵まれた町である。主要産業は農業で、さくらんぼやりんご、ゼネラルレクラーク、にんにく、長いも、食用菊が名産である。

【人口】 21,620 人  
 【世帯数】 7,424 世帯  
 【高齢化率】 28.5%  
 （平成 20 年 3 月末現在）



#### 3. 事業の体制づくり

##### 【事業開始のきっかけ・経緯】

青森県旧名川町は、国や県の平均と比較して高齢者の自殺率が約 4 倍も高く、以前より町の健康課題となっていた。高齢者の心の健康に関する取り組みを保健活動において積極的に取り組むために、大野裕教授をはじめとする厚生労働科学研究班の協力のもと平成 11 年度から高齢者のこころの健康づくり事業が開始となった。その時に開発されたうつスクリーニングの項目が、現在の基本チェックリストのうつ予防関連項目となっている。

#### 4. 実施状況

##### ①うつスクリーニングの実施

住民健診問診票にうつスクリーニング項目を取り入れており、65 歳以下の住民にも実施している。平成 19 年度実績では、3700 人に実施し、うち 270 人（7.3%）が陽性となった。陽性者に対しては、電話や訪問にて 2 次スクリーニングを実施している。

##### ②相談体制の整備

「心の健康相談」と題し、年 6 回の精神科医による健康相談日を設けている。また、平日の日中には「心の癒し電話」として専用の携帯電話を設置し、保健師が対応している。

##### ③一般住民への普及啓発活動

冬場に町内の各地区で開催する地区健康教室において、うつに関する講話やビデオ上映、ビデオをもとにしたグループワークを行っている。その他にも、老人クラブや団体への健康教